



さらなる二学期制の充実を目指します



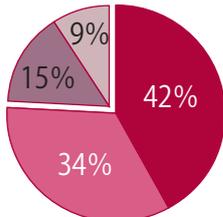
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

本市では、平成18年度から全ての小・中学校で二学期制を実施し、来年度で10年目を迎えます。「二学期制の良さ」として期待されたことがきちんと活用され、実際に効果が上がっているのか、また、保護者の目にはどう映っているのかなど、その成果を確認するため、平成25年度に教員や保護者を対象にアンケートを行いました。

■学校教育課（内線367）

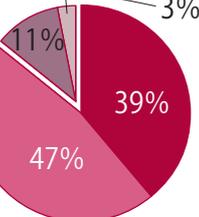
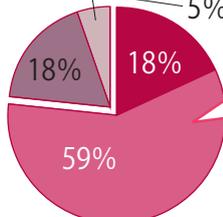
アンケート結果

Q 長期休業前のゆとりを活用して、修学旅行や職場体験などの体験活動を充実させることができる



(市外転出教員65人)

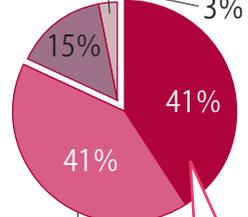
Q ゆとりを活用し、児童生徒の心に寄り添う教育を充実させている



(市内教員345人)

不登校者数の減少につながっています。

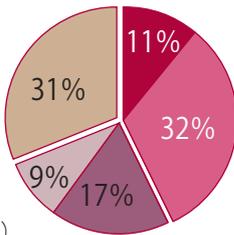
Q 教師との面談が実施され、子どもの学習・生活の向上につながる具体策について共通理解ができる



どちらも個別面談によって「学習面・生活面の具体的な改善策が共通理解できる。」と感じています。

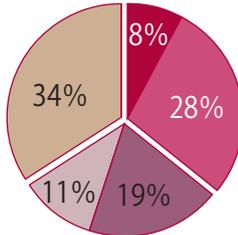
教員

Q 夏休み・冬休み前でも落ち着いて授業がなされ、学習活動が充実する

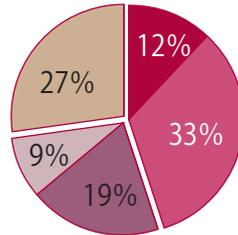


(回答数4,120人)

Q 教師と子どものふれあいの場や時間が増えたことで、子どもたちの心に寄り添う教育が充実する



Q 夏休みや冬休みの補充学習や課題への取り組みが、休み明けの評価につながる



保護者

【保護者からのご意見】



家庭でも支援がしたい。子どもの学習課題を把握するためにも夏休み前に通知表が欲しい。

夏休み中、課題意識が無く、ぼんやり過ごしている。

【アンケートや意見をもとに、二学期制を検証】

- 二学期制では、7月・12月が学期末ではなくするため、学校運営などにゆとりが生まれ、それを活用して体験活動や行事を行うことができます。
- 期待したほど授業数は増えなかったものの、個に応じた支援が行き届き、基礎学力の一層の定着が可能となります。
- 長期休み前に子どもの悩み相談に迅速に対応することができ、安心・安全な学校生活や学力を保障することにつながります。
- 夏休みの取り組みの成果を前期の評価に加えることで、休み中の課題意識の向上を図ることができます。

二学期制のこれから

二学期制では、夏休みが前期の中に含まれます。より意義深い夏休みにするため、学校・家庭・市のそれぞれの役割を明確にし、子どもの学びを共に支援していきましょう。

学校

- 目的意識を持って夏休みを過ごせるよう、一人一人の学習課題と改善に必要な取り組みなどを面談によって具体的に伝えます。
- 夏休みの取り組みを前期の評価に反映させ、学習意欲の向上を図ります。

家庭

- 面談で得た情報をもとに、お子さんのがんばりを後押ししてください。
- 夏休みは、家庭での生活が中心になります。規則正しい生活を送れるよう配慮してください。

市

- 教育委員会主催のさまざまなイベントを分かりやすくご家庭にお知らせします。
- 子どもたちが自由研究などにさらに意欲を持って取り組めるような支援のあり方を検討します。

「生きる力」を育む教育に

本市では現在、「豊かな学力」と「確かな育ち」をキーワードに設定し、全人的な人間形成を目指した学校教育を推進しています。二学期制の枠組みの中で、その良さを最大限活用した教育実践により、未来を切り拓く子どもの育成・教育の振興を図っていきます。